

ホームページを http:// から https:// へ移行しませんか？



ご利用料は、月額 1,320円

鍵マーク

<https://www.google.co.jp>

ひと昔前までは、SSL通信(https:// エッチティーティーピーエス)は、金融機関やショッピングモールの個人情報(氏名、口座情報、パスワード、住所、生年月日等)漏洩を防ぐ目的で利用されていました。本来は、情報の信頼性を確保していることを対外的に証明するため、全てのページをSSL通信にすることが望ましかったのですが、導入・運用コストが決して安価ではなかったため、あまり普及していなかったのが実情です。

2017年1月、Google が画像を含む全てのコンテンツにSSL通信を導入することを推奨しました。これを機に、通常のページはもちろん画像ファイル(jpg、png等)も含めSSL通信でやりとりするのが常識となってきました。Googleは、SSL通信をしていないホームページに対して、パソコンでは「保護されていない通信」、スマホでは、「安全ではありません」という表示で、当該サイトへのアクセスをしないようにユーザーに呼び掛けています。

保護されていない通信 | knet.ne.jp/ ☆

ああ 安全ではありません — [e.jp](#) ↺

また、Googleは、SSL通信を良質なコンテンツの判断基準の1つとしており、SSL通信のページは非SSL通信(http://)のページに対して優位な位置づけとなります。つまり、SSL通信の導入は、セキュリティ対策のみならず、SEO(Search Engine Optimization)対策としても必要なことになっています。

Knet 株式会社では、株式会社 日本レジストリーサービスの「JPRSサーバー証明書」を取り扱っており、当社のホスティングサービスをご利用いただいているお客様に対して安価に提供しております。ホームページのSSL通信化は、情報の信頼性を保持し対外的に証明する手段のみならず、SEO的なメリットを鑑み必須であると確信しております。ぜひとも、御社のホームページのSSL通信化をご検討ください。



*JPRSサーバー証明書(DV型・単独)

- ・ご利用料: 毎月支払: 1,320円/月(設定・更新手数料込)
: 年一括払: 12,100円/年(別途、設定・更新手数料がかかります)
 - ・SSL設定手数料(新規/更新時): 2,200円
- ※詳しくは、裏面の価格表、またはホームページ(www.knet.ad.jp)でご確認ください。



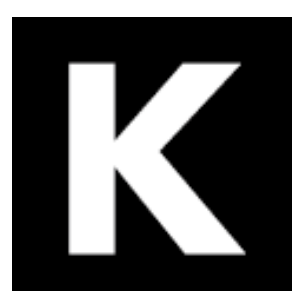
日本レジストリーサービスとは

株式会社 日本レジストリーサービス(本社: 東京都千代田区 資本金: 3億4414万円)は、「co.jp」や「jp」ドメインの登録管理業務を実施するために、2000年に設立されました。現在、約140万件のJPドメイン、都道府県型JPドメイン名を取り扱っています。2016年4年より、今回ご紹介する「JPRSサーバー証明書発行サービス」の提供を開始しております。



SSLサーバー証明書とは

SSL(= secured sockets layer)を利用したページでは、URLが「http://」ではなく、「https://」からはじまります。最後に付与される「s」は、「安全(security)」を意味します。ブラウザーによっては、アドレスバーが緑色で表示されたり(EV型)、鍵マークが表示されたり(DV型、OV型)して、視覚的にも安全なサイトであることをアピールできます。



●お問い合わせ先
Knet株式会社
〒360-0024 埼玉県熊谷市問屋町2-4-18 ソシオ熊谷情報センター3階
TEL: 048-511-3830 FAX: 048-511-3857 HP: www.knet.ad.jp



●JPRSサーバー証明書・提供企業
株式会社 日本レジストリーサービス(JPRS)
<https://jprs.jp/pubcert/>



● JPRSサーバー証明書

- | | |
|---------------|---|
| ・DV(単独)型 | 年一括払 12,100円(消費税10%込)
毎月支払 1,320円(消費税10%、更新手数料込) |
| ・DV(ワイルドカード)型 | 年一括払 33,000円(消費税10%込) |
| ・OV(単独)型 | 年一括払 48,400円(消費税10%込) |
| ・OV(ワイルドカード)型 | 年一括払 99,000円(消費税10%込) |
- ※契約期間は、最長1年となります。イベント等で短期のご利用を希望の場合にも、お問合せください。

● SSL更新手数料

- ・新規契約時、及び年一回の更新時 2,200円(消費税10%込)
- ※DV(単独型)毎月支払をご契約の場合、新規契約時及び更新時の手数料は本体価格に含まれます。

● IPアドレス付与

- ・1IPにつき 220円(消費税10%込)
- ※旧WEBサーバー(ターボリナックス)のホスティングサービスをご利用の場合、サブドメイン毎にIPアドレスを1つ付与する必要があります。ビジネスコースをご利用の場合、こちらの費用はかかりません。



SSLサーバー証明書には、認証レベルが簡易な順にドメイン認証(DV: Domain Validation)型、組織認証(OV: Organization Validation)型、EV(Extended Validation)の3種類があります。暗号化の機能は、認証局や証明書の種類による違いはほとんどありませんが、身元証明の機能は、SSLサーバー証明書の種類によって大きく異なります。

●SSLサーバー証明書は、以下の項目を証明します。

- ・証明書に表示されたドメインの所有者であることの証明(DV型)
- ・証明書を使用した運営サイト企業の実在性(OV型、EV型)
- ・ブラウザとサーバー間でのSSL暗号化通信の実現(DV型、OV型、EV型)

●ドメイン認証(DV: Domain Validation)型SSLサーバ証明書

- ・ドメインの管理権限を元に発行されるSSL証明書です。
- ・組織情報の確認や、認証局からの電話確認を受けることなくSSL証明書の発行が可能です。
- ・発行されたSSL証明書の属性には、組織情報が記載されません。
- ・一般的にブラウザのアドレスバーに、鍵マークが表示されます。

●組織認証(OV: Organization Validation)型SSLサーバ証明書

- ・組織情報の審査を経てから発行されるSSL証明書です。実在証明型ともいいます。
- ・組織情報の確認や、認証局からの電話確認を受けてからSSL証明書が発行されます。
- ・発行されたSSL証明書の属性には、組織情報が記載されますので、サイト運営者のなりすまし防止を証明することができます。
- ・一般的にブラウザのアドレスバーに、鍵マークが表示されます。

●EV(EV: Extended Validation)型SSLサーバ証明書

- ・ブラウザのアドレスバーが緑色になる最高位のSSL証明書です。
- ・組織証明型(OV)よりも厳格な審査を経て発行されます。
- ・価格面でも高価なSSLサーバー証明書であり、銀行・証券・カードなど金融機関で採用されています。



JPRSサーバー証明書では、SSL通信化したいドメインに対しサブドメインが複数存在する場合、「ワイルドカード型」というオプションも提供しております。

●単独型

一枚の証明書で、1つのサブドメインに対応します。SSL通信化したいサブドメインが「www.」の場合は1枚、「www.」「ww2.」のように2つの場合には、2枚ご購入ください。

●ワイルドカード型

一枚の証明書で、「www.」「shop1.」「shop2.」など複数のサブドメインを一律にSSL通信化できます。対象となるサブドメインの数が3つ以上の場合には、単独型を複数枚購入するよりもワイルドカード型の方がお得となります。なお、サブドメインの数に上制限はありません。